

平成 29 年度「島田市まち・ひと・しごと創生市民会議」について（案）

1. 設置目的

- ・官民と本市が連携することにより、地方創生（まち・ひと・しごと創生）を実行力あるものとし、本市の特徴を活かした自律的で持続的な社会を創生するため、島田市まち・ひと・しごと創生市民会議を設置する。

2. 会議の役割

- ・市の強みや特徴を活かした施策の検討
- ・「総合戦略」の推進及び実施状況の検証（重要業績評価指標（KPI）による評価、検証）
- ・まち・ひと・しごと創生に関する施策の情報交換・情報共有

3. 総合戦略の評価、検証について（PDCAサイクル）

- ・平成 27 年度に策定した「島田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の着実な推進を図るため、事業評価、検証を行い、必要に応じて総合戦略を改訂するという一連のサイクルを実施する。
- ・行政による自己評価を行った上で、市民会議や金融機関会議での外部評価を行い、評価の妥当性、客観性を担保したうえで、施策の見直しや改善を行い、総合戦略の実効性を高めていく。
- ・なお、平成 29 年度から市民会議の開催回数を原則、年 2 回、第 1 回目の開催を 8 月とし、外部評価結果を次年度の取組、予算等へ反映できるようにする。
(※平成 28 年度は 5・11・3 月の年 3 回開催)

4. 平成 29 年度 スケジュール

| 時期 | 会議名 | 内容 |
|-----|---------------------|---|
| ～6月 | 自己評価（行政による評価、分析） | 事業担当課による平成 28 年度実施事業の評価、数値目標、KPI による検証、とりまとめ |
| 7月 | 創生推進本部幹事会 創生推進本部 | 事業担当課による評価、とりまとめ結果の確認 |
| 8月 | 第 1 回 市民会議 | ・外部評価（行政による自己評価結果の検証） ・まち・ひと・しごと創生に関する施策の情報交換 |
| 9月 | 市議会への報告 | 行政による自己評価結果、外部評価結果の議会への報告 |
| 10月 | 評価結果の施策への反映 | 次年度予算、施策等への反映 （事業の重点化、改善、総合戦略の見直し、改訂） |
| 2月 | 創生推進本部幹事会 創生推進本部 | 当年度事業実施状況、次年度予算、取組内容の報告 |
| 3月 | 第 2 回 市民会議 | ・当年度事業実施状況、次年度予算、取組内容の報告 ・まち・ひと・しごと創生に関する施策の情報交換 |